

東京学芸大学基金

活動のご報告とご寄附のお願い



国立大学法人
東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

東京学芸大学基金 2024年度 活動報告

学長挨拶

日頃より東京学芸大学の教育研究活動にご理解、ご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

東京学芸大学基金では、皆様の温かいご支援により、これまで奨学金などの学生生活支援や留学への支援、更には教職に就く学生への支援や大学・各附属学校の教育研究環境の整備など、様々な分野で活用させて頂くことができました。

変化の激しい社会において、教育を担う有為の教育者の養成という本学の使命は、益々重要なものになっていると感じています。

皆様の温かいご支援のもと、さらなる教育研究活動の充実に向け、大学構成員全体が一丸となって取り組む所存です。

皆様におかれましては、是非引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東京学芸大学長
國分 充

活動報告

2024年度における基金の主な活動について、次のとおりご報告いたします。

活用実績

23,754,085円

1 学芸むさしの奨学金

3,000,000円

本学独自の給付型の奨学金（学資支援・緊急支援）となっております。日本学生支援機構の給付型奨学金の対象者と同程度の世帯収入にもかかわらず、支援を受けられない学生や生計維持者の死亡等で家計に急変があった学生を対象に支援を行っています。2024年度は、24名の学生へ給付しました。



2 短期留学支援

1,932,800円

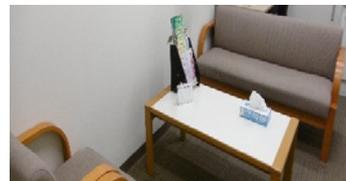
グローバル化により生じる教育課題に対応する力をもった教員・教育支援者を養成することを目的として、海外留学協定校等で実施されているプログラムへの支援となっております。2024年度は、60名の学生が本制度を利用し、海外への留学を実現しました。



3 学生相談体制の強化

1,776,500円

本学の学生相談体制では、24時間体制でからだの相談やこころの相談ができるようになっております。また、学生のみならず保護者からの相談も受け付けております。安心して学生生活を送れるよう支援体制を整えております。



4 各附属学校園へのご寄附

13,943,000円

卒業生からの多くの温かいご支援をいただいております。各附属学校園の環境整備や附属特別支援学校における教材購入に活用しました。



5 教員採用試験に係る学びの環境支援

1,300,000円

6 学業成績が優秀な学生に対する表彰

350,000円

2024年度受入額



受入件数

受入額

大学へのご寄附

139件

5,385,910円

附属学校園へのご寄附

78件

8,833,000円

皆様からの温かいご支援により、2024年度の寄附総額は約1,400万円に上りました。学生支援のため様々な活動に使わせていただいております。東京学芸大学の取り組みにご理解とご支援を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

学生からの謝意

皆様からの温かいご支援を受けた学生から感謝のメッセージをお伝えいたします。

① 短期留学プログラム事業

仲間と一生懸命に遊び、学んだ2週間

初等教育教員養成課程理科選修3年(当時) 森優花

私は2024年8月の2週間、韓国にあるソウル市立大学のサマープログラムに参加しました。日本では国際寮に入居し、日ごろから留学生と交流する中で、自分の目で海外を見てみたい、英語を使ってコミュニケーションを取ってみたいと思い、参加を決めました。現地学生とは英語を使って会話をしました。互いに言語の壁がある中、色々な会話を通して仲を深められたことは自信につながりました。

現地では平日朝から夕方まで授業を受けて、そのあとにソウル市内で遊んで、宿舎に帰ってきたら翌日の韓国語の授業についていくためにまた韓国語を自習する、という生活でした。これは「勉強と遊び」という学生の本分を一生懸命に全うするようなものであり、達成感がありました。印象に残っているのは、ソウル市立科学館です。学部での学びに結び付けて海外での教育を見られたことは大きな刺激になりました。

卒業後は、自身の専門性を高めるため大学院に進学して学び続ける予定です。

また、現地でのプログラムも大切な経験になりましたが、プログラムで一緒だった9人は留学から1年たった今でもみんなでご飯に行くほどの仲になりました。そのような仲間に出会えたことも大きな財産です。このような機会をご支援いただいた皆様、誠にありがとうございました。



② Giving Campaign2024

アメリカンフットボール部 SNAILS

私たちアメリカンフットボール部SNAILSでは、昨年のGiving Campaignでの結果を受けて、支援をしていただき、テントを2張購入しました。アメフトは防具を付けるため、他の競技よりも熱中症になるリスクが高いです。今年の夏休みは地面を焦がすような日差しが続きました。新しいテントは私たちにとって最高の休息地となりました。部員の命を救う支援をしていただいた皆様に御礼申し上げます。

SNAILSは現在、関東学生アメリカンフットボール連盟の2部リーグに所属し、「2部優勝」を目標に日々練習しております。今年は昨年からメンバーの入れ替わりが激しく、怪我人も多数出ている状況です。しかし、勝負の世界、そんな甘いことは言ってもらえるものではありません。プレイヤー28人、スタッフ27人、今年のシーズンを笑って終えられるよう、55人全員でこれからも支えてくれる人々がいることを忘れることなく、目標に向かって全力で駆け抜けます。皆様ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



東京学芸大学 ご寄附のお願い

用途を指定したご寄附のご紹介

本学は、ご希望に沿ったご寄附をいただけるよう様々な用途をご用意しております。

- 1 修学支援事業**
 - ・ 学生に対する支援
 - ・ 国際交流支援
 - ・ 学芸むさしの奨学金
- 2 研究等支援事業**

学生又は不安定な雇用状態にある研究者に対する研究又は研究者としての能力向上の支援
- 3 教育研究活動等への助成**
- 4 キャンパス環境の整備・充実事業**
- 5 その他教育研究上必要な事業**
- 6 特定基金**
 - ・ OECD日本共同研究国際共創プロジェクト支援基金
 - ・ アート・アスレチック教育センター CAAAEプロジェクト支援基金

東京学芸大学基金へのご寄附の方法

インターネットからのお申込み

基金ウェブサイト内の「寄附お申込フォーム」からお手続きください。クレジットカード／コンビニ／Pay-easy決済（金融機関ATM・ネットバンキング）のいずれかの決済方法をお選びいただけます。また、クレジットカード決済の場合、「随時寄附」と「継続寄附」からお選びいただけます。



ゆうちょ銀行でのお申込み

付属の払込取扱票からお手続きください。必要に応じてプロジェクト番号の記載をお願いします。

ゆうちょ銀行以外の金融機関でのお申込み

- ① 付属の「寄附申込書」をご記入の上、東京学芸大学広報・基金室までお送りください。（領収書発行の際に必要なとなりますので、必ずお届け願います。）
- ② 「寄附申込書」へ記載してあります口座宛にお振込みください。

モノドネ募金について

不要になった腕時計やバッグ等の買取額が、本学基金へ寄附されます。



古本募金

読み終わられた本が学生のための図書購入に役立てられます。



税制上の優遇措置

個人の場合

所得税の控除：個人で2,000円以上の寄附をされた方は、確定申告を行うことにより、以下の税制優遇措置が受けられます。また、「修学支援事業」、「研究等支援事業」へのご寄附の場合、「所得控除」か「税額控除」のいずれかから、減税効果の高い有利な制度を選択することができます。

所得控除制度

寄附金から2,000円を差し引いた額に、各寄附者の所得に応じた税率を掛けて、税額を計算します。所得控除を行った後に税率を掛けるため、諸所得税率が高く、高所得者ほど減税効果が大いのが特徴です。

税額控除制度

寄附金から2,000円を差し引いた額の40%が、所得税額から控除されます。所得税率に関係なく、税額から直接控除されるので、所得にかかわらず、また小口の寄附にも減税効果が大いのが特徴です。

法人の場合

寄附金の全額を損金算入することができます。



詳しくはこちらから▶



その他のご支援方法のご紹介

遺贈（遺言によるご寄附）

遺言によって、ご自身が遺される財産を特定の人や団体に贈る（寄附する）ことを遺贈といいます。東京学芸大学では、遺贈を通じたご支援も承っております。

東京学芸大学とREADYFORが遺贈寄附分野の包括提携を開始しました（New!）。

<https://izo.readyfor.jp/>

7

個別プロジェクト基金

- ・世界レベルを体感した選手から、陸上競技の魅力を伝えたい
- ・東京学芸大学国際交流FUNプロジェクト基金
- ・環境教育研究センター体験活動支援基金
- ・東京学芸大学書道科のこれからのに向けた施設及び教育の充実のためのプロジェクト

8

全附属学校園への支援（全附属学校園共通）

9

各附属学校園への支援

附属学校園を指定してのご支援

ご寄附を頂いた皆様への謝意

皆様からのご厚志に感謝し、累計寄附金額に応じて以下の顕彰等を行わせていただきます。

ご芳名掲載

基金ウェブサイトにて、ご寄附をいただいた皆様の「ご芳名」「寄附金額」「メッセージ」を記載いたします。

銘板設置

累計10万円以上のご寄附をいただいた皆様には、以下のとおりご芳名を銘板として附属図書館入口に設置いたします。

ゴールド：個人100万円以上／企業等団体500万円以上

シルバー：個人50万円以上／企業等団体300万円以上

ブロンズ：個人10万円以上／企業等団体100万円以上



感謝状の贈呈

累計50万円以上のご寄附をいただいた皆様には、学長より感謝状を贈呈させていただきます。（企業等団体500万円以上）

紺綬褒章の推薦

紺綬褒章は国の褒章制度のひとつで、公益のために、私財（個人は500万円以上、法人等は1,000万円以上）を寄附した方に授与されます。

本学は、内閣府賞勲局より、公益のために私財をご寄附された方に授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けており、寄附者様のご意向を確認のうえ、本学から文部科学省に申請（その後文部科学省を経て内閣府へ提出）いたします。



お問い合わせ



国立大学法人
東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

東京学芸大学 総務課広報・基金室

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

電話 042-329-7116 FAX 042-329-7114

E-Mail kikin60@u-gakugei.ac.jp





東京学芸大学基金 News



NEWS 1

Giving Campaign へ参加しました！

“学生による”資金調達イベント「Giving Campaign2024」へ参加しました。本学の課外活動団体から16団体が参加しました。約5,500名の方から、879,000円のご寄附、応援メッセージ等をいただきました。



NEWS 2

個別プロジェクト基金を設置しました！

今年度より、新たにプロジェクト別のご寄附ができるようになりました。部活動や国際交流など、ご寄附者様の想いに寄り添ったご寄附をすることができます。

- ① 世界レベルを体感した選手から、陸上競技の魅力を伝えたい
- ② 東京学芸大学国際交流FUNプロジェクト基金
- ③ 環境教育研究センター体験活動支援基金
- ④ 東京学芸大学書道科のこれかからに向けた施設及び教育の充実のためのプロジェクト



NEWS 3

宇根尚秀様へ紺綬褒章を贈呈させていただきました。

東京学芸大学は、日本の褒章制度の一つで、公益のために私財を寄付し、功績顕著なる方々へ授与される「紺綬褒章」の公益団体として認定されております。

この度、本学附属高等学校へのご寄附により、宇根尚秀様へ紺綬褒章の授与が決定し、令和7年3月3日に附属高等学校にて伝達式が執り行われました。

式では本学役職員及び教職員が見守る中、大野附属高等学校長より褒章が伝達された後、狩野副学長（附属学校担当）から感謝の辞が述べられ、その後受賞者との懇談が実施されました。



東京学芸大学基金・プロジェクト番号一覧表

東京学芸大学基金払込取扱票の「寄附目的」欄の「その他の事業」の()に番号のご記入をお願いします。
(番号のご記入がない場合や、下記にない番号を記入された場合は、用途を大学に一任されたものとして取り扱わせていただきます。)

【大学へのご支援】

1. 教育研究活動等への助成事業
2. キャンパス環境の整備・充実事業
3. その他教育研究上必要な事業
20. 東京学芸大学 OECD 日本共同研究国際共創プロジェクト支援基金
21. アート・アスレチック教育センター CAAAE プロジェクト支援基金
30. 世界レベルを体感した選手から、陸上競技の魅力を伝えたい
31. 東京学芸大学国際交流 FUN プロジェクト基金
32. 環境教育研究センター体験学習活動支援基金
33. 東京学芸大学書道科のこれからのに向けた施設及び教育の充実のためのプロジェクト

【附属学校園へのご支援】

70. 全附属学校への寄附 (全附属学校共通)
50. 附属世田谷小学校
51. 附属世田谷中学校
52. 附属高等学校
53. 附属幼稚園小金井園舎
54. 附属小金井小学校
55. 附属小金井中学校
56. 附属大泉小学校
57. 附属国際中等教育学校
58. 附属幼稚園竹早園舎
59. 附属竹早小学校
60. 附属竹早中学校
61. 附属特別支援学校

※特定基金へのご寄附の5% / 個別プロジェクト基金へのご寄附の8%については、東京学芸大学基金本体へ繰り入れさせていただきます。

※用途が上記に記載していない場合は、お手数ですがウェブサイトの「寄附の種類」をご参照ください。

「寄附の種類」はこちら ▶



